

福島県沖地震に伴う東北新幹線の被害と復旧状況等について

3月16日（水）に発生した福島県沖地震により一部区間で運転を見合わせた東北新幹線は、4月14日（木）より全線で運転を再開しました。現在は郡山～一ノ関間の徐行のため、臨時ダイヤでの運転をしておりますが、このたび、同区間の復旧作業および安全確保の見通しが立ったことから、5月13日（金）より通常ダイヤでの運転を再開いたします。

なお、脱線現場付近につきましては、一連の調査が完了するまで通常より速度を落として運転いたしますが、これによる到着時分の変更はありません。

長い間運転見合わせや徐行による臨時ダイヤでの運転が続き、ご利用のお客さまに大変ご迷惑をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

1 通常ダイヤでの運転再開日について

2022年5月13日（金）

※ 4月8日（金）にお知らせした5月10日（火）までの臨時ダイヤについては、通常ダイヤでの運転再開日の前日5月12日（木）まで期間を延長いたします。

2 指定券の発売開始日について

下記のスケジュールで発売いたします。

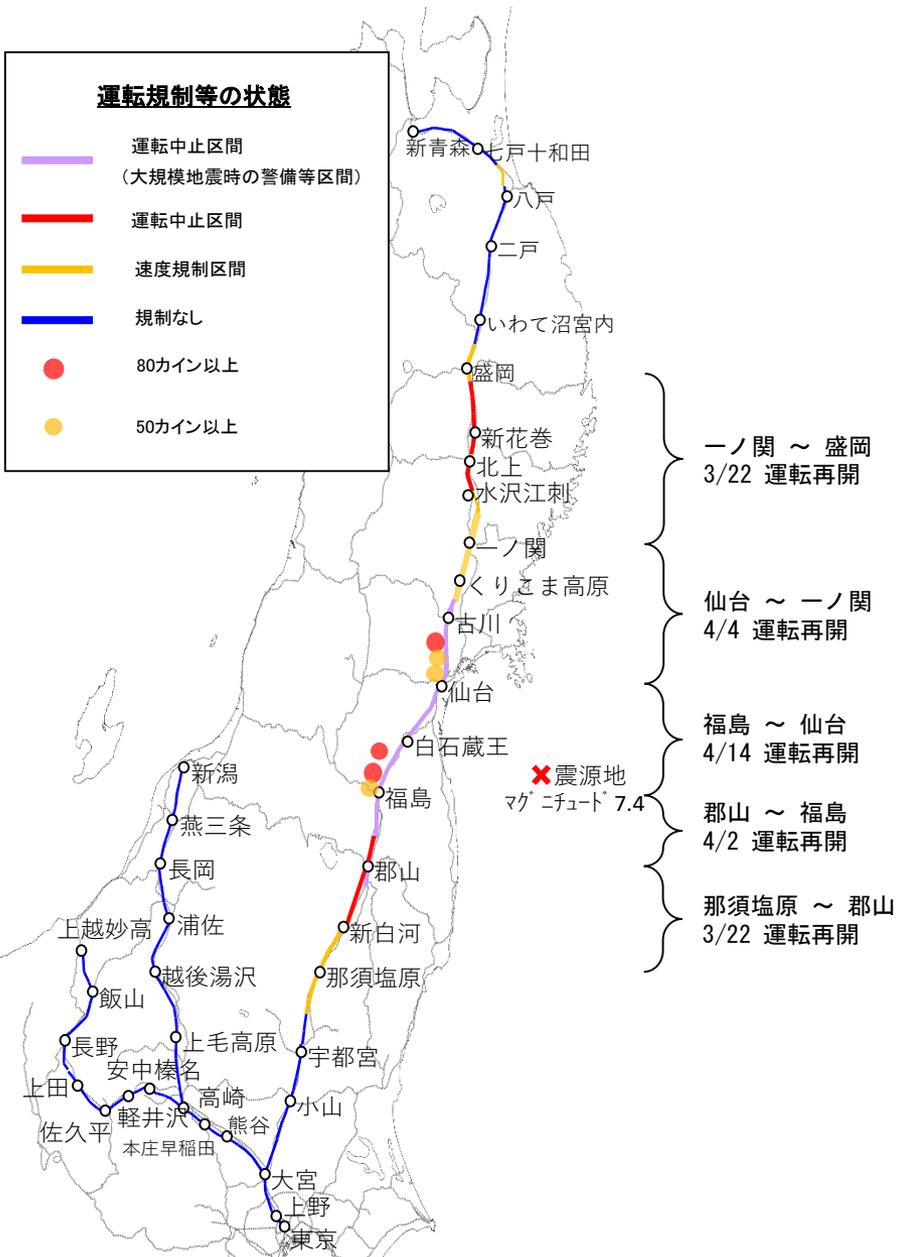
	列車の運転日	指定券の発売開始日
臨時ダイヤ	～5月10日（火）	発売中
	5月11日（水）～12日（木）	4月21日（木）の営業開始から
通常ダイヤ	5月13日（金）～15日（日）	4月21日（木）の営業開始から
	5月16日（月）～21日（土）	4月22日（金）の営業開始から
	5月22日（日）～	通常通り運転日の1か月前の10時から

※ 5月13日（金）以降の運転時刻は、4月20日（水）発売のJR時刻表5月号や、JR東日本ホームページに掲載されている各駅の時刻表でご確認ください。

※ なお、JR東日本アプリの経路検索は4月22日（金）以降に反映予定です。

※ 東北・北海道新幹線の「新幹線オフィス車両」サービスは、5月13日（金）から再開いたします。

3 東北新幹線の主な被害と復旧状況（別紙1～4参照）



■東北新幹線における主な被害状況

主な被害	箇所数
電柱被害	約90本
架線断線	2箇所
架線金具等の損傷	約550箇所
土木設備被害	約60箇所
軌道変位・損傷	約300箇所
駅設備被害	約10箇所
合計	約1,000箇所

【参考】在来線における主な被害状況

主な被害	箇所数
電柱被害（傾斜等）	約20箇所
土木設備被害	約10箇所
線路設備被害	約100箇所
駅設備被害	約10箇所
合計	約140箇所

※上記以外の軽微な被害については、計画的に復旧を進めてまいります。

■ジャッキアップによる載線



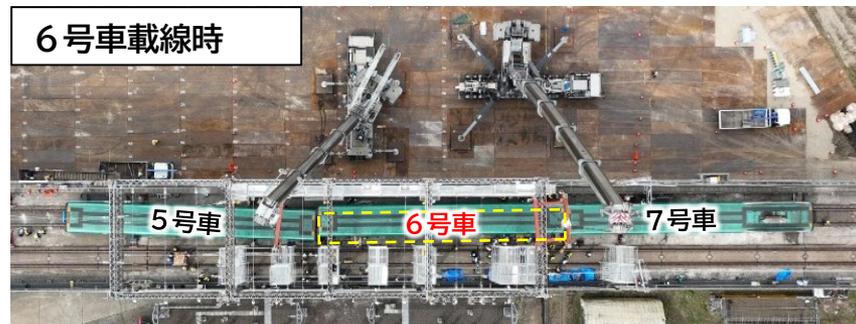
ジャッキアップ作業



載線作業

■クレーンによる載線

6号車載線時



クレーン設置状況

■車両の回送



小移動



保守用車による牽引
脱線現場 ⇒ 仙台駅



営業車両による牽引
仙台駅 ⇒ 車両センター

■ 軌道の復旧

福島～白石蔵王



■ 土木設備の復旧

福島～白石蔵王



東北新幹線の主な被害及び復旧状況（電気関係）

【別紙4】

■電柱の復旧

福島～白石蔵王



■架線断線の復旧

福島～白石蔵王

